

山本哲士著

『〈私〉を再生産する 共同幻想国家・国家資本』

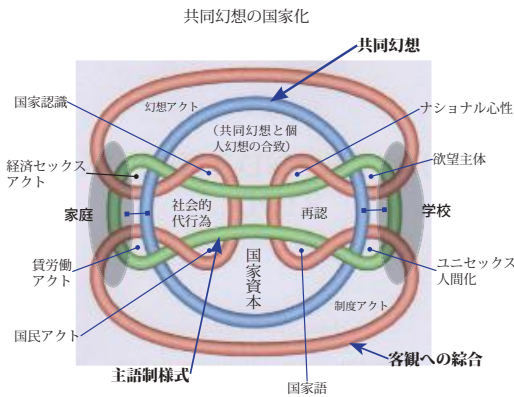
なぜかくも日本はおかしくなっているのか！

〈私〉を取り巻く多様な再生産から根拠を示す。
賃労働者＝社会人となっている個人の転倒、
それは共同幻想の国家化と国家資本の効果。

2018年7月10日発売

- 1章 アルチュセールの再生産理論（国家装置概念の転換）
 - 2章 ブルデューの教育再生産論と再生産戦略（文化的再生産）
 - 3章 教育理論による再生産理論と国家的配備（ユニセックス論）
 - 4章 マルクスの再生産様式論の本質相（剰余価値の概念転移）
 - 5章 国家と家族的再生産理論（経済セックス形成）
 - 6章 国家の再生産様式の構成（ラカンとトポロジ的解析）
 - 7章 文学生産の理論と再生産（生産の本質相）
- 終章 再生産理論の限界と脱出（時間論と場所論）

私が賃労働者となり社会代行者（企業人、役人、生徒、親教師など）となって、思考し行動して生存生活している。それは国家資本に集約された主語制言語とその「客観への総合」の大学知性が一般化した「共同幻想と個人幻想が合致した」国家的配備の世界である。学校と家族がそれを再生産して、商品主導の経済的再生産が可能になっている。国家を实体化する国家権力論の誤りを転じた、世界理論の水準に立つての新たなトポロジー国家論。



文化科学高等研究院出版局
ehesbook.com



560 ページ ペーパーバック版
210×134
定価 本体 3980 円＋税
C1010

山本 哲士 (やまもと てつじ)

1948 年生まれ。東京都立大学大学院人文科学研究科、博士課程修了。教育学博士。政治社会学、ホスピタリティ環境設計学。元信州大学教授、元東京芸術大学客員教授。企業環境、環境倫理・環境哲学など、社会環境、文化環境から〈場所 - 地球〉の経済／政治を近代学問体系を超えて総合的に設計・構築する超領域的研究。

1975 年、イバン・イリイチが主宰したメキシコの CIDOC へ遊学。1986 年より『季刊 iichiko』編集・研究ディレクター。1988 年「文化科学高等研究院 EHESC」を設立、2001 年「スイス・ジュネーブ国際学術財団 F・EHESC」として登記、ジェネラル・ディレクターをつとめ、現在にいたる。2013 年「Japan Hospitality Academy」を設立。著書・編著は 50 書以上、編集雑誌は 130 冊以上に及ぶ。『文化資本論』（新曜社）、『新版・ホスピタリティ原論』『哲学の政治 政治の哲学』（文化科学高等研究院出版局）。『ピエール・ブルデューの世界』『吉本隆明の思想』（三交社）『ミシェル・フーコーの思考体系』『イバン・イリイチ』（EHESC 出版局）で思想家 4 部作を完成。国家論 5 部作、『吉本隆明と共同幻想論』（晶文社）『フーコー国家論』『ブルデュー国家論』『国家と再認・誤認する私の日常』（ともに EHESC 出版局）を完成。

注文は JRC へ fax.03-3294-2177

文化科学高等研究院出版局 tel.03-3580-7784 fax.03-5730-6084

〈私〉を再生産する共同幻想国家・国家資本

山本哲士著

本体 3980 円

ISBN978-4-938710-37-8 C1010 ¥3980E

書店名

部数